

令和5年10月19日

組合員各位

全日本豊事業協同組合  
事務局

### 会議報告

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

10月16日・17日の両日、全日豊事務所に於きまして、第5回執行部・委員長会議が行われました。両日中、異なる4団体等の来所を受け、官庁とWEB会議も行うなど、コロナ禍が一段落して様々な案件が出てきています。

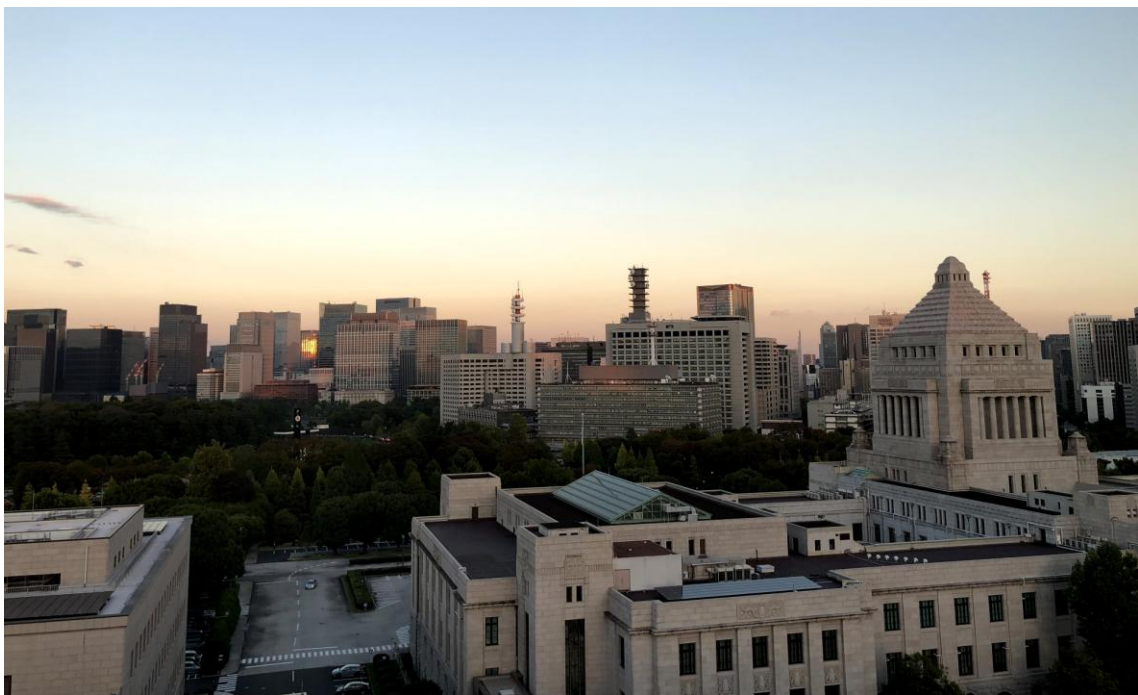
昨年度より、中規模（理事会相当）の会議が全日豊事務所で行えるよう、時間をかけて部屋の片付けを行なってきました。現在まだ途中ですが、20名を超える会議も開催可能になりました。少し会議の様子をUP LOAD 致します。



（一社）日本豊産業協会、全日本豊床工業協同組合の代表・役員の方々が来所されました。予め頂いていた国土交通省への陳情についての文章を、全日豊で端的で明確な表現に精査させて頂きました。全日豊以下、豊業界が一致団結した見解の下に官庁に働きかけて行く事が重要で、こういった業界内での折衝が増える事は望ましく、今後もどんどん応じて行くとの事です。



かねてより季刊「建築施工単価」の単価が安すぎる懸念がありました。そこで（一財）経済調査会より建築統括部室長他 2 名の方々にお越し頂き、掲載単価決定に至るプロセスをお伺いしました。様々な意見交換を行った上で、今後は掲載単価のヒアリングを行う業者は全日暁の推薦を重視させて頂くとの結論を頂きました。投げやりの価格なのか正当な価格なのかの判断は、出版社ではできなくて当然です。だからこそ慎重で公平なヒアリングが求められます。



参議院議員会館 10F からは、夕刻快晴の素晴らしい景観でした。たたみ振興議員連盟幹事長兼事務局長の有村治子先生より来所して欲しい旨ご連絡を頂き、17 時過ぎから石河理事長・大平専務理事・岡田総務委員長・事務局雁食の 4 名で訪問しました。御多忙の中、1 時間にわたり今後のたたみ振興議員連盟の在り方について様々な意見交換をさせて頂きました。様々な理由からこの 6 年近くの間活動ができなかったたたみ振興議員連盟ですが、今年度中の総会開催を目指すべく始動しました事を報告させて頂きます。



翌 17 日は、令和 5 年度公共建設工事標準仕様書等基礎調査資料作成業務のヒアリングのため、WEB にて下記の方々との会議に臨みました。

【国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課建築技術調整室】課長補佐、施工基準係長、係員

【(一社) 公共建築協会】技術基準部長、建築技術基準室長

【(一財) 建築保全センター】参事、保全第一部長

第 19 章の内装工事について 6 項目の質問を受け、回答をさせて頂きました。例えば、令和 4 年度版には「畳床に取っ手を付ける」と記載されていますが、D 種や衝撃緩和畳床は軽量ですので、製造所の仕様によって無くても可として良いというような回答です。官庁の記載文書は一言一句意味があり、これを書き換えるとなると様々な手続きが必要で大ごとです。それだけにこういった記載

文章は強い効力を持つと言えます。畳店の生業にも直結する極めて重要な文言の精査に、全日畳の意見が反映されると言う事です。であるならば権限は正しく有効に使われなければなりません。JAS の表記や断熱材の厚み、JISA5902 についてなど、畳を製造する立場から細かく意見を述べさせて頂きました。



少しでも畳業界が良くなるよう、執行部役員一同頑張っています。組合員の皆様からも御意見等がございましたら、メールにて事務局までお送り下さい。

以上